

古座川県立自然公園

指 定 書

及 び

公 園 計 画 書

[大塔山県立自然公園(仮称)新規指定に伴う変更]

(案)

令和●●年●●月●●日

和 歌 山 県

古座川県立自然公園

指 定 書

令和●年●月●日

和 歌 山 県

目次

1	指定理由	1
2	地域の概要	2
(1)	景観の特性	2
ア	地形、地質	2
イ	植生	2
ウ	動物	2
(2)	利用の現況	3
(3)	社会経済的背景	4
ア	土地所有別	4
イ	人口及び産業	4
ウ	権利制限関係	4
3	公園区域	5

※本書記載の山名及び標高は、日本山名事典<改訂版>（三省堂、2011年8月10日発行）から引用

1 指定理由

「古座川県立自然公園」は、紀伊半島の最南端に近い内陸部に位置し、古座川を中心とする河川沿いの区域、平井川上流部（北海道大学和歌山研究林を含む。）及び将軍山南部を中心とする森林区域で構成される。

大塔山に源を発する古座川は日本でも有数の清流河川として知られており、良好な水質のみならず、豊かな自然環境を保持している。また、ウナギ、アユ、テナガエビなどの動物が豊富で、ウナギ料理をはじめ、アユの背越し、テナガエビの煮付けなどの食文化がある。さらに、本流で行われているアユの火振り漁や、支流の小川にある滝ノ拝で行われているアユのトントン釣りなど独特のアユ漁が行われており、人と自然が調和している生態系が存在し、優れた河川景観を呈している地域である。

当公園区域の核となる河川は古座川、平井川、^{そいのがわ}添野川、佐本川、小川、成見川等で構成されている。これらの河川周辺には岩壁、岩峰や美しい溪谷地形が多く見られ、変化に富んだ優れた河川景観を呈している。その中でも、和歌山県レッドデータブック（2012年、以下「県RDB」という。）で貴重な地質に選定され、国指定天然記念物である「古座川の一枚岩」や、県RDBで貴重な地形に選定され、県指定文化財（名勝・天然記念物）である「滝ノ拝」は、この地区を代表する景観探勝ポイントである。その他にも県RDBで貴重な地形・地質に選定されている「^{しょうじょほう}少女峰」「^{やげんいわ}天柱岩（薬研岩）」「まぼろしの滝」「成見川溪谷（成見八丁）」「平井川溪谷」「小川峡」「佐本川溪谷」「古座川峡」等、河川に関する景観資源が多数存在している。

河川沿いの平地には集落が分布していて、その周辺には人工林、二次林、田畑があり、里山景観が続いている。

当公園区域の森林区域に該当する平井川上流部及び将軍山南部にはケヤキ、モミ、ツガ、トガサワラ、ヒノキ等が混じる自然植生のウラジログシ群落が比較的広い面積をもって分布している。

その核心部は、大足谷周辺、大森山山頂付近、将軍山南部、まぼろしの滝周辺に位置し、これらは和歌山県紀南地域を代表する優れた自然植生である。

このようにこれらの地域には、保全すべき傑出した自然地形等優れた自然景観が存在し、また、自然探勝や登山等の利用も盛んである。自然公園として適正な自然ふれあい利用を一体として促進していく必要があることから、これらの地域を県立自然公園として保護と利用を図ることとする。

2 地域の概要

(1) 景観の特性

ア 地形、地質

古座川地区は地形分類上、古座川上流部に中起伏山地が少し分布するが、ほとんどの地区は小起伏山地に属する。また、下流部には扇状地性低地が分布する。

古座川沿いの地形が急峻になっている所は、古座川上流部の他に、古座川一枚岩周辺にも見られる。

標高の高い山としては、大森山（842m）、将軍山（748m）がある。

地質（表層地質）では、古座川上流～中流域や平井川流域を含む西部には、紀伊半島南部に広く存在する古第三紀層のタービダイトと呼ばれる堆積物からなる砂岩、あるいは砂岩と頁岩の互層が分布する。古座川中流～下流域、小川流域を含む東部には、西部とは異なる新第三紀層の泥岩が広く分布している。

当公園区域の核となる河川は古座川、平井川、添野川、佐本川、小川、成見川等で構成されている。これらの河川周辺には岩壁、岩峰や美しい溪谷地形が多く見られ、変化に富んだ優れた河川景観を呈している。その中でも、県RDBで貴重な地質に選定されており、国指定天然記念物である「古座川の一枚岩」や県RDBで貴重な地形に選定されており、県指定文化財（名勝・天然記念物）である「滝ノ拝」は、この地区を代表する景観探勝ポイントである。その他にも県RDBで貴重な地形・地質に選定されている「少女峰」「天柱岩（薬研岩）」「まぼろしの滝」「成見川溪谷（成見八丁）」「平井川溪谷」「小川峡」「佐本川溪谷」「古座川峡」等、河川に関する景観資源が多数存在している。

また、当公園区域内には「古座川弧状岩脈」と呼ばれる貴重な地質が存在している。「古座川弧状岩脈」は1400 万年前の地層の割れ目に沿って珪長質マグマが上昇してできたもので、風化や浸食の結果、地表が多様な形状を表しているのが特徴で、「古座川の一枚岩」がこれに該当する。

イ 植生

古座川地区の河川沿いの植生は、主としてスギ・ヒノキ植林地とシイ・カシ二次林が混在して分布している。

また、当公園区域の森林区域に該当する平井川上流部及び将軍山南部にはケヤキ、モミ、ツガ、トガサワラ、ヒノキ等が混じる自然植生のウラジロガシ群落が比較的広い面積を持って分布している。

その核心部は、大足谷周辺、大森山山頂付近、将軍山南部、まぼろしの滝周辺に位置し、これらは和歌山県紀南地域を代表する優れた自然植生である。

ウ 動物

上流部では自然度の高い森林の指標種であるフタテンツノカメムシ（県RDB・準絶滅危惧）の生息記録があり、将軍山ではオオダイガハラサンショウウオ（県指定天然記念物、県RDB・絶滅危惧Ⅰ類）、ナンキセダカコブヤハズカミキリ（県RDB・学術的重要）といった紀伊半島特産の重要な動物が生息している。

また、古座川流域では、古座川町直見にあるハッチョウトンボ（町指定天然記念物、和歌山県

RDB・準絶滅危惧)を保全する町管理のビオトープや、河川敷に生息するツマグロキチョウ(県RDB・準絶滅危惧)などが特筆すべきものである。

また、古座川支流である平井川には、自然分布ではないもののオオサンショウウオ(国指定特別天然記念物)が昭和37年から生息し産卵もしている。

(2) 利用の現況

本地域は、古座川の一枚岩や滝ノ拝など景観探勝ポイントが多く、また、嶽ノ森山トレッキングや清流古座川でのカヌー体験などのアクティビティも人気がある。

ア 本地域に関する市町別観光客推計は次のとおりである。

市町村名	観光客総数		うち宿泊客		うち日帰り客	
	人数	対前年比	人数	対前年比	人数	対前年比
白浜町(旧日置川町)	179,470	118.17%	20,949	90.24%	158,521	123.21%
すさみ町	981,439	92.80%	25,700	121.84%	955,739	92.21%
古座川町	140,933	107.91%	6,296	118.48%	134,637	107.46%
合計	1,301,842	97.15%	52,945	106.69%	1,248,897	96.78%

※観光客動態調査報告書(平成30年 和歌山県商工観光労働部観光局)から引用

イ 本地域に関する市町別観光客の目的別推計は次のとおりである。

市町村名 (単位:人)	海水浴 川泳ぎ	キャンプ	スポーツ ゴルフ ハイキング	釣り	花見	観光農園	温泉 休養
白浜町(旧日置川町)	76	2,945	15,573	5,760	12	0	70,693
すさみ町	13,376	0	8,600	18,836	0	0	56,517
古座川町	1,673	1,283	4,384	4,701	3,320	2,073	45,401
合計	15,125	4,228	28,557	29,297	3,332	2,073	172,611

市町村名 (続き)	祭	社寺参詣	風景 自然観賞	観光施設	その他	合計
白浜町(旧日置川町)	41	0	0	0	84,370	179,470
すさみ町	11,400	0	29,940	842,770	0	981,439
古座川町	6,540	309	32,400	23,395	15,454	140,933
合計	17,981	309	62,340	866,165	99,824	1,301,842

※観光客動態調査報告書(平成30年 和歌山県商工観光労働部観光局)から引用

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

合計 6,106ha (国有地 0ha、公有地 36ha、私有地 6,070ha)

イ 人口及び産業

(ア) 本地域に関する各市町の人口及び世帯数は次のとおりである。

和歌山県	人口 (単位:人)			平成 22 年からの 増減数 (総数)	世帯数 (単位:戸)	平成 22 年からの 増減数
	総数	男	女			
白浜町	21,533	9,933	11,600	△1,163	9,538	△78
すさみ町	4,127	1,966	2,161	△603	1,927	△187
古座川町	2,826	1,275	1,551	△277	1,378	△106
合計	28,486	13,174	15,312	△2,043	12,843	△371

※平成 27 年国勢調査結果 (平成 27 年 10 月 1 日現在) から引用

(イ) 本地域に関する各市町の産業別人口は次のとおりである。

和歌山県	第 1 次産業		第 2 次産業		第 3 次産業		合計 (人数)
	人数	%	人数	%	人数	%	
白浜町	540	5	1,731	18	7,400	77	9,671
すさみ町	214	13	375	22	1,099	65	1,688
古座川町	144	14	140	13	752	73	1,036
合計	898	7	2,246	18	9,251	75	12,395

※平成 27 年国勢調査結果 (平成 27 年 10 月 1 日現在) から引用

ウ 権利権限関係

(ア) 史跡名勝天然記念物

(国指定)

名称	位置	指定年月日
古座川の一枚岩	古座川町相瀬	昭 16.12.13

(県指定)

名称	位置	指定年月日
滝ノ拝	古座川町小川	平 22.3.16

3 公園区域

古座川県立自然公園の区域を次のとおりとする。

(表1：公園区域表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
和歌山県	西牟婁郡白浜町 竹垣内の一部	249
	西牟婁郡すさみ町 佐本根倉、佐本深谷の各一部	119
	東牟婁郡古座川町 相瀬、一雨、洞尾、宇津木、潤野、大川、大柳、川口、蔵土、小川、小森川、佐田、下露、添野川、高瀬、田川、立合、立合川、月野瀬、鶴川、長追、中崎、成川、西赤木、西川、直見、平井、松根、真砂、三尾川、明神、山手の各一部	5,738
合 計		6,106

古座川県立自然公園

公園計画書

令和●年●月●日

和歌山県

目次

1	基本方針	1
2	規制計画	2
(1)	保護規制計画及び関連事項	2
ア	特別地域	2
(ア)	第1種特別地域	3
(イ)	第2種特別地域	6
(ウ)	第3種特別地域	10
イ	関連事項	13
(ア)	採取等規制植物	13
(イ)	普通地域	14
ウ	面積内訳	15
3	事業計画	16
(1)	施設計画	16
ア	利用施設計画	16
(ア)	単独施設	16
(イ)	道路	17
a	歩道	17
4	参考事項	18
(1)	過去の経緯	18

※本書記載の山名は、日本山名事典<改訂版>（三省堂、2011年8月10日発行）から引用

1 基本方針

(1) 保護規制計画

景観、自然性及び利用の特性に応じ地種区分を決定する。

ア 第1種特別地域

優れた風致を維持する必要性が高く、現在の景観を極力保護することが必要な次の地域を第1種特別地域とする。

- ・ 特殊な河川地形、森林等のすぐれた自然景観を有する地域。
- ・ 希少な野生動植物の生育・生息地となっている自然性の高い地域。

イ 第2種特別地域

良好な風致の維持を図るため、特に農林業活動については努めて調整を図ることが必要な次の地域を第2種特別地域とする。

- ・ 良好な河川地形、森林等、景観の保全上重要な地域。
- ・ 第1種特別地域に隣接する地域。
- ・ 主要な利用拠点及びその周辺の地域で、適正な利用の推進を図る地域。

ウ 第3種特別地域

次の地域のうち、良好な風致の維持を図ることが必要であるが、通常の農林漁業活動については風致の維持に影響を及ぼすおそれが少ない地域を第3種特別地域とする。

- ・ 連続したまとまりのある森林地域。
- ・ 造林地等農林業活動が行われている地域。
- ・ 主要な利用拠点及びその周辺の地域で、適正な利用の推進を図る地域。

エ 普通地域

特別地域を補完的に保全する地域や特別地域周辺の風景と一体的になっている集落地を普通地域とする。

(2) 利用施設計画

ア 単独施設

現況の利用状況をふまえ、当該公園の自然景観を採勝するための各種計画を適切に配置し、その拠点を計画として位置づける。また、当該地域において既に整備されていて、公園利用に資する施設として計画を位置づける。

イ 道路

歩道については、自然採勝等、当該地域のすぐれた自然風景や自然にふれあうためのものを計画として位置づける。

2 規制計画

(1) 保護規制計画及び関連事項

ア 特別地域

次の区域を特別地域とする。

(表1：特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
和歌山県	西牟婁郡白浜町 竹垣内の一部	249 〔 国 0 公 0 私 249 〕
	西牟婁郡すさみ町 佐本深谷の一部	8 〔 国 0 公 0 私 8 〕
	東牟婁郡古座川町 相瀬、一雨、洞尾、宇津木、潤野、大川、大柳、川口、蔵土、小川、小森川、佐田、下露、添野川、高瀬、田川、立合、立合川、月野瀬、鶴川、長追、中崎、西赤木、西川、直見、平井、松根、真砂、三尾川、明神、山手の各一部	1,791 〔 国 0 公 17 私 1,774 〕
合 計		2,048

(ア) 第1種特別地域

次の区域を第1種特別地域とする。

(表2：第1種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
和歌山県	東牟婁郡古座川町 相瀬、蔵土、小川、平井の各一部	138
		〔 国 0 〕
		〔 公 0 〕
		〔 私 138 〕
合 計		138
		〔 国 0 〕
		〔 公 0 〕
		〔 私 138 〕

(表3：第1種特別地域内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
大足谷	東牟婁郡古座川町 平井の一部	古座川の支流・平井川の上流部に位置する。植生は主として、モミ、ツガ、ヒノキ等の針葉樹を含むウラジロガシ自然林で、紀伊半島南部を代表する自然植生である。また、谷筋にはケヤキ、イタヤカエデ等の渓谷林が見られ、これらの大径木が多いことも特徴である。これらのことから、現在の景観を極力保護することが必要な地域である。	84 〔 国 0 公 0 私 84 〕
大森山	東牟婁郡古座川町 平井の一部	大森山山頂の北側斜面に位置する。北海道大学和歌山研究林として管理されており、広い範囲に自然林が見られる。植生はモミ、ツガが混じるウラジロガシ自然林である。また、コウヤマキ、ゴヨウマツ保存林として位置付けられている自然林も見られる。これらのことから、現在の景観を極力保護することが必要な地域である。	45 〔 国 0 公 0 私 45 〕
滝ノ拝	東牟婁郡古座川町 小川の一部	古座川の支流・小川付近に位置する。新第三紀中期中新世の下里累層の砂岩の互層からなる河床が、河水及び砂礫によって円形ないし舟底型、溝型、壺型に侵食された甌穴地形が見られる。滝ノ拝の甌穴群には連結した滝が見られ、多様な形態をしており、その規模も大きく、非常に優れた地形景観を呈していることから、和歌山県レッドデータブック（2012年、以下「県RDB」という。）に貴重な地形として選定されている。滝ノ拝周辺には駐車場もあり、自然探勝の場として利用されている。これらのことから、現在の景観を極力保護することが必要な地域である。	2 〔 国 0 公 0 私 2 〕
天柱岩	東牟婁郡古座川町 蔵土の一部	古座川の一枚岩の西側に位置する。黒雲母流紋岩、ザクロ石・黒雲母凝灰岩及び軽石凝灰岩からなる古座川弧状岩脈の一部が浸食されて岩柱状になった巨岩である。天空に突き出るような形で垂直にそびえており、非常に優れた地形景観を呈していることから、現在の景観を極力保護することが必要な地域である。	1 〔 国 0 公 0 私 1 〕

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
一枚岩	東牟婁郡古座川町 相瀬の一部	相瀬の古座川沿いに位置する。新第三紀中期中新世の熊野酸性岩類の活動期に形成された古座川弧状岩脈の一部である。延長800mにわたってそびえ立つ大岩壁で、高さは150mに達する。岩石は流紋岩質凝灰岩でかなり硬く固結し、均質で節理がほとんどないため、風化・浸食に堪えた壮大な岩壁である。対岸から望むと視野いっぱいに岩壁をとらえることができ、非常に優れた地形・地質景観を呈している。大岩体は、断層、節理、差別的風化浸食などによって大きな岩体のまま残ることは少なく、このような一枚岩は稀である。また、セッコク、キイジョウロホトトギス等の貴重な植物も見られる。対岸には、休憩所、駐車場等が整備され、近畿自然歩道もこの地域を通過していて、利用の拠点となっている。これらのことから、現在の景観を極力保護することが必要な地域である。	6 〔 国 0 公 0 私 6 〕
合 計			138 〔 国 0 公 0 私 138 〕

(イ) 第2種特別地域

次の区域を第2種特別地域とする。

(表4：第2種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
和歌山県	西牟婁郡すさみ町 佐本深谷の一部	8 〔 国 0 〕 公 0 私 8
	東牟婁郡古座川町 相瀬、一雨、洞尾、宇津木、潤野、大川、大柳、川口、蔵土、小川、小森川、下露、添野川、高瀬、田川、立合、立合川、月野瀬、鶴川、長追、中崎、西赤木、西川、直見、平井、松根、真砂、三尾川、明神、山手の各一部	454 〔 国 0 〕 公 0 私 454
合 計		462 〔 国 0 〕 公 0 私 462

(表5：第2種特別地域内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
古座川上流部	東牟婁郡古座川町 下露、西川、松根の各一部	大塔山を源流とする古座川の本流部で、その源流部から七川ダム北部の下露までの河川部で、優れた渓谷景観が見られる。また、河川部の崖の部分には、ケヤキ、イロハモミジ等の自然植生が見られる。これらのことから、各種行為との調整を図りつつ、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	24 〔 国 0 公 0 私 24 〕
大足谷	東牟婁郡古座川町 平井の一部	第1種特別地域の大足谷の東部に位置する自然度の高い森林である。植生は、モミ、ツガ、ヒノキ等の針葉樹が混生するウラジロガシ自然林で、この地域の特徴的な自然植生である。これらのことから、各種行為との調整を図りつつ、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	45 〔 国 0 公 0 私 45 〕
平井川溪谷・ 玉ノ谷・栃ノ 谷	東牟婁郡古座川町 添野川、西川、平井の各一部	古座川の支流・平井川を主たる地域とし、成井谷、玉ノ谷、栃ノ谷とその周辺自然林を含んでいる。平井川溪谷は、大塔山を源流として玉ノ谷から七川ダムまでの河川部で優れた渓谷景観を呈している。成井谷や玉ノ谷付近は、その優れた渓谷に加えて、ウラジロガシの自然林が見られる。栃ノ谷にも同様に優れた渓谷景観があり、加えて県RDBに貴重な地形として選定されている「まぼろしの滝」が見られる。これらのことから、各種行為との調整を図りつつ、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	98 〔 国 0 公 0 私 98 〕
<small>そいのがわ</small> 添野川	東牟婁郡古座川町 添野川の一部	平井川の支流・添野川の七川ダム西部の仮屋口から上地までの河川部で、優れた河川景観が見られる。このことから、各種行為との調整を図りつつ、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	4 〔 国 0 公 0 私 4 〕

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
小川上流部	東牟婁郡古座川町 小川、小森川、田川、西赤木の各一部	古座川支流・小川滝ノ拝から小川源流部までの河川部と、小川の支流、成見川源流部から小川と成見川の合流点までの河川部で構成され、優れた河川渓谷景観が見られる。河川上流部に位置することから、比高も高く、河川幅も狭くなり、より渓谷地形を呈する部分が多く見られる。「成見川渓谷」「小川峡」は、県RDBに貴重な地形として選定されている。これらのことから、各種行為との調整を図りつつ、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	17 〔 国 0 公 0 私 17 〕
古座川	西牟婁郡すさみ町 佐本深谷の一部 東牟婁郡古座川町 相瀬、一雨、洞尾、宇津木、潤野、大川、大柳、川口、蔵土、小川、高瀬、立合、月野瀬、鶴川、長追、中崎、直見、真砂、三尾川、明神、山手の各一部	七川ダム南部の真砂及び古座川の支流・佐本川の田鶴平から古座川の一枚岩を通過して古座川河口付近の宇津木までの河川部と古座川支流・小川の滝ノ拝から直見にかけての河川部で構成される。この地域には優れた河川景観が連続して見られ、清流古座川の中心部である。本河川は部分的に優れた渓谷地形を呈している。「佐本川渓谷」「古座川峡」「小川峡」は、県RDBに貴重な地形として選定されている。渓谷周辺には、部分的にウバメガシ等の自然林も見られ、貴重植物であるキイジョウロホトトギス、ウナズキギボウシ等も見られる。河川沿いには車道があり、車窓からの風景探訪にも適しており、またカヌー等の自然体験も盛んである。これらのことから、各種行為との調整を図りつつ、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	256 〔 国 0 公 0 私 256 〕
嶽ノ森山	東牟婁郡古座川町 相瀬の一部	古座川の一枚岩の対岸に位置する。頂上が切り立った岩峰は、非常に特徴的で優れた地形景観を呈している。植生は主としてウバメガシ自然林である。また、嶽ノ森山への登山道が整備され、自然探勝や自然とのふれあい活動の場として利用されている。これらのことから、各種行為との調整を図りつつ、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	12 〔 国 0 公 0 私 12 〕

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
立合川	東牟婁郡古座川町 相瀬、一雨、立合川の各一部	立合の北部に位置する。県RDBに貴重な地形として選定されている「飯盛岩」が見られる。「飯盛岩」は、黒雲母流紋岩、ザクロ石・黒雲母凝灰岩及び軽石凝灰岩からなる古座川弧状岩脈の一部が侵食されて岩柱状になったものである。植生は主としてウバメガシ自然林である。これらのことから、各種行為との調整を図りつつ、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	4 〔 国 0 公 0 私 4 〕
神水瀑	東牟婁郡古座川町 一雨の一部	一雨の付近に位置する。「神水瀑」と呼ばれる小さな滝が見られ、優れた地形景観を呈している。このことから、各種行為との調整を図りつつ、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	1 〔 国 0 公 0 私 1 〕
<small>しょうじょほう</small> 少女峰	東牟婁郡古座川町 月野瀬の一部	月野瀬の対岸に位置する。県RDBに貴重な地形として選定されている「少女峰」が見られる。「少女峰」は、黒雲母流紋岩、ザクロ石・黒雲母凝灰岩からなる古座川弧状岩脈の一部が侵食されて岩峰状になったものである。植生は主としてウバメガシ自然林である。これらのことから、各種行為との調整を図りつつ、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	1 〔 国 0 公 0 私 1 〕
合 計			462 〔 国 0 公 0 私 462 〕

(ウ) 第3種特別地域

次の区域を第3種特別地域とする。

(表6：第3種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
和歌山県	西牟婁郡白浜町 竹垣内の一部	249 〔 国 0 〕 〔 公 0 〕 〔 私 249 〕
	東牟婁郡古座川町 相瀬、一雨、洞尾、蔵土、小川、小森川、立合川、西川、平井、 山手の各一部	1,199 〔 国 0 〕 〔 公 17 〕 〔 私 1182 〕
合 計		1,448 〔 国 0 〕 〔 公 17 〕 〔 私 1431 〕

(表7：第3種特別地域内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
栃ノ谷	東牟婁郡古座川町 西川の一部	第2種特別地域の大足谷、平井川溪谷・玉ノ谷・栃ノ谷上流部に位置する森林地で、ウラジロガシの自然林が広く分布している。栃ノ谷周辺の優れた森林・溪谷景観を一体的に保全するため、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	46 〔 国 0 公 0 私 46 〕
玉ノ谷左岸	東牟婁郡古座川町 平井の一部	第2種特別地域の平井川溪谷、玉ノ谷、栃ノ谷の周辺部に位置する森林地で、スギ・ヒノキの植林地が広く分布している。成井谷、玉ノ谷周辺の優れた森林・溪谷景観を一体的に保全するため、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	76 〔 国 0 公 0 私 76 〕
成井谷・玉ノ谷	東牟婁郡古座川町 平井の一部	第2種特別地域の大足谷、平井川溪谷・玉ノ谷・栃ノ谷の周辺部に位置する森林地で、スギ・ヒノキの植林地が広く分布しているが、部分的にウラジロガシ自然林も残存している。成井谷、玉ノ谷周辺の優れた森林・溪谷景観を一体的に保全するため、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	168 〔 国 0 公 0 私 168 〕
大森山・将軍山	西牟婁郡白浜町 竹垣内の一部 東牟婁郡古座川町 平井の一部	大森山を中心とした北海道大学研究林と将軍山を中心とした森林地域である。北海道大学研究林内の第3種特別地域の植生は、スギ・ヒノキの植林地が広く分布しているが、部分的にシイ・カシ自然林も見られる。将軍山周辺部の植生は、モミ、ツガ等の針葉樹が混在するウラジロガシ自然林が広く分布している。大森山・将軍山周辺の優れた森林・溪谷景観を一体的に保全するため、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	677 〔 国 0 公 0 私 677 〕
奥番	東牟婁郡古座川町 小森川の一部	第2種特別地域の小川上流部周辺に位置する森林地で、スギ・ヒノキの植林地も見られるが、ウラジロガシ自然林が比較的多く分布している。小川上流部周辺の優れた森林・溪谷景観を一体的に保全するため、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	190 〔 国 0 公 0 私 190 〕

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
滝ノ拝	東牟婁郡古座川町 小川の一部	第1種特別地域の滝ノ拝の周辺部に位置する森林地で、スギ・ヒノキの植林地やシイ・カシ二次林が分布している。滝ノ拝周辺の優れた森林・渓谷景観を一体的に保全するため、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	22 〔 国 0 公 0 私 22 〕
柿太郎	東牟婁郡古座川町 小川、山手の各一部	滝ノ拝の南に位置する。第2種特別地域である古座川の支流・小川の蛇行した地形が見られる部分があり、その周辺の森林が当地域に該当する。植生は、スギ・ヒノキの植林地やシイ・カシ二次林が分布している。柿太郎周辺の優れた森林・渓谷景観を一体的に保全するため、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	97 〔 国 0 公 0 私 97 〕
一枚岩	東牟婁郡古座川町 相瀬、洞尾、蔵土の各一部	第1種特別地域の古座川の一枚岩の周辺部に位置する森林地で、スギ・ヒノキの植林地やシイ・カシ二次林が分布している。古座川の一枚岩周辺の優れた森林・渓谷景観を一体的に保全するため、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	161 〔 国 0 公 17 私 144 〕
立合川	東牟婁郡古座川町 一雨、立合川の各一部	第2種特別地域の立合周辺部に位置する樹林地で、スギ・ヒノキの植林地が分布している。立合周辺の優れた森林・渓谷景観を一体的に保全するため、良好な風致の維持を図ることが必要な地域である。	11 〔 国 0 公 0 私 11 〕
合 計			1,448 〔 国 0 公 17 私 1,431 〕

イ 関連事項

(ア) 採取等規制植物

採取又は損傷を規制する植物を次のとおりとする。

(表 8 : 採取等規制植物表)

科 名	種 名 (ミズゴケ科の植物にあつては属名)
※検討中 (別途県民意見募集 (パブリックコメント) を実施予定)	

(イ) 普通地域

普通地域の区域は、次のとおりである。

(表9：普通地域表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
和歌山県	西牟婁郡すさみ町 佐本根倉、佐本深谷の各一部	111 〔 国 0 〕 公 0 私 111
	東牟婁郡古座川町 相瀬、一雨、洞尾、宇津木、潤野、大川、大柳、川口、蔵土、小川、小森川、佐田、下露、添野川、高瀬、田川、立合、立合川、月野瀬、鶴川、長追、中崎、成川、西赤木、西川、直見、平井、松根、真砂、三尾川、明神、山手の各一部	3,947 〔 国 0 〕 公 19 私 3,928
合 計		4,058 〔 国 0 〕 公 19 私 4,039

ウ 面積内訳

(表 10：地域地区別土地所有別面積総括表)

(単位：面積 ha、比率%)

地域区分		特別地域									普通地域			合計		
		第1種			第2種			第3種								
土地所有別		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私
合計	土地所有別面積	0	0	138	0	0	462	0	17	1,431	0	19	4,039	0	36	6,070
	地種区分別 面積 (比率)	138 (2.2)			462 (7.6)			1,448 (23.7)								
	地域別 面積 (比率)	2,048 (33.5)									4,058 (66.5)			6,106 (100)		

(表 11：地域地区別市町村別面積総括表)

(単位：ha)

地域地区		特別地域				普通地域	合計
		第1種	第2種	第3種	小計		
市町村名							
和歌山県	西牟婁郡白浜町	0	0	249	249	0	249
	西牟婁郡すさみ町	0	8	0	8	111	119
	東牟婁郡古座川町	138	454	1,199	1,791	3,947	5,738
合計		138	462	1,448	2,048	4,058	6,106

3 事業計画

(1) 施設計画

ア 利用施設計画

(ア) 単独施設

単独施設を次のとおりとする。

(表 12：単独施設表)

番号	種類	位 置	整備方針	告示年月日
1	園地	和歌山県東牟婁郡古座川町 (平井)	大足谷及び大森山自然探勝の入口拠点の園地として整備する。	平 22.3.30
2	園地	和歌山県東牟婁郡古座川町 (一枚岩)	古座川の一枚岩の自然探勝のための園地として整備する。	平 22.3.30
3	園地	和歌山県東牟婁郡古座川町 (滝ノ拝)	滝ノ拝の自然探勝のための園地として整備する。	平 22.3.30

(イ) 道路

a 歩道

歩道を次のとおりとする。

(表 13 : 道路 (歩道) 表)

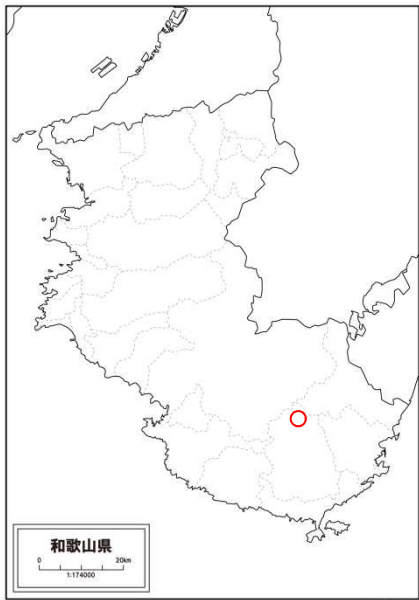
番号	路線名	区 間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	近畿自然歩道線 道路 (歩道)	起点－和歌山県東牟婁郡古座川町 (宇津木・県立自然公園境界) 終点－和歌山県東牟婁郡古座川町 (蔵土)	古座川の一枚岩	古座川のすぐれた河川・溪谷景観や古座川の一枚岩や天柱岩等の巨岩・奇岩を 探勝する近畿自然歩道として整備する。	平 22.3.30

4 参考事項

(1) 過去の経緯

平成 22 年 3 月 30 日 公園区域の指定、公園計画の決定

■古座川県立自然公園 公園区域変更図①



■ 古座川県立自然公園 公園区域変更図②

